

持続可能性の高い経営に取り組む企業の表彰制度

# 三重の サステナブル経営アワード

～令和5年度受賞企業のご紹介～



伊勢志摩リゾート  
マネジメント株式会社



株式会社久志本組



和光紙器株式会社



光精工株式会社



株式会社山下組



三重県



## 三重のサステナブル経営アワードへの期待

「三重のサステナブル経営アワード」は、平成26年4月に施行された「三重県中小企業・小規模企業振興条例」に基づく表彰制度である「三重のおもてなし経営企業選」をリニューアルするかたちで令和4年度に創設しました。世界的にサステナブル経営への関心が高まっているなか、これからの企業経営に求められる「持続可能性」の視点を新たな評価基準に、令和4年度は8社の企業を表彰、2回目となる令和5年度には、新たに5社の企業を表彰しました。

本県の中小企業・小規模企業は、県内の企業数の99.8%、従業員総数の88.3%を占めており、地域の雇用や経済、社会を支えている重要な存在です。本制度は、持続可能性のある優れた取組を行う中小企業・小規模企業に注目し、その魅力を情報発信していくとともに、持続可能性の高い経営に取り組む企業の裾野を拡大することを目的としています。

今回ご紹介する令和5年度受賞企業は、「環境への配慮・脱炭素」、「次世代育成の推進」、「地域社会への貢献」、「従業員満足度の向上」に目を向けた特長的な取組をされており、社会の変化にも対応して発展を続けています。原材料価格やエネルギー価格、労務費等の高騰などで中小企業・小規模企業を取り巻く環境が依然厳しい中、前向きな取組により地域を牽引する企業の存在は重要です。今回表彰された各企業の取組を通じて、県内中小企業・小規模企業の皆様が「サステナブル経営」への理解を深め、自らも持続可能性に目を向けた経営に取り組んでいただくことで、競争力や事業継続力の強化、新たな雇用の創出につなげ、地域経済活性化の原動力となっただくことを期待しています。

令和6年3月

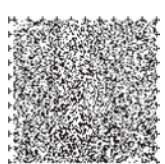
三重県知事 一見 勝之



### 「三重のサステナブル経営」とは

環境や社会の持続可能性に配慮しながら、長期的に良好な経済活動を行う経営のことです。

「三重のサステナブル経営アワード」では、「環境への配慮・脱炭素」、「次世代育成の推進」、「地域社会への貢献」、「従業員満足度の向上」の4つの取組を実践することで、自社の付加価値の向上と経営基盤の改善を推進する、他の県内企業のモデルとなるような持続可能性の高い企業を表彰します。



持続可能性の高い経営に取り組む  
企業の裾野拡大



# 令和5年度受賞企業



- ◆ 伊勢志摩リゾートマネジメント株式会社
- ◆ 株式会社久志本組
- ◆ 株式会社山下組
- ◆ 光精工株式会社
- ◆ 和光紙器株式会社

## 「三重のサステナブル経営アワード」の4つの要素

### 環境への配慮・脱炭素

例えば

- ペーパーレスの推進
- グリーン電力の活用
- フードロスの削減 など



環境に優しい企業としてのイメージ向上

### 次世代育成の推進

例えば

- 社会見学の受け入れ
- 地元小学校へ教材や図書の寄付
- 育児支援制度の充実 など



次世代育成に取り組む企業姿勢の明確化

### 地域社会への貢献

例えば

- ボランティア活動への積極参加
- 地域への寄付
- 地元からの積極的な採用 など



地域に信頼され長く愛される存在

### 従業員満足度の向上

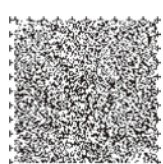
例えば

- 働きやすいオフィスの整備
- 社内提案制度の充実
- 働き方改革の推進 など



人材の定着の促進・従業員の能力開発

「このように  
「持続可能性の高い経営」  
を行う企業を表彰します





# 伊勢志摩リゾートマネジメント株式会社 (志摩市)

## SDGs 活動を通して伊勢志摩の海と山を守り続ける

鳥羽市の鳥羽国際ホテル・潮路亭、志摩市のNEMU RESORT・NEMU GOLF CLUBを運営する。2017年に、株式会社鳥羽国際ホテル、株式会社合歓の郷を統合し、伊勢志摩リゾートマネジメント株式会社を設立した。



取締役総支配人 惣明 福德

- 創業 1964年
- 従業員数 422人
- 資本金 5000万円

### 従業員の提案を表彰しSDGs活動を推進

年に1回、社内SDGsアイデアコンテストを実施し、各セッションで取り組んでいるSDGs活動の報告及び各年度の新しい取組の発表を行っている。優秀な取組を表彰し、従業員のアイデアから生まれた様々な取組が同社のSDGs活動を盛り上げている。

また、ポストに投函することで総支配人に直接提案できる社内提案制度を設けている。従業員は誰でも提案が可能で、採用された提案は表彰される。



SDGsアイデアコンテストの様子



チーズケーキを再利用したパン

### 循環型社会に配慮した取組

鳥羽国際ホテルでは、焼きムラやヒビなどで見た目が悪くホールで販売できないチーズケーキをパンに再利用して販売したり、朝食ビュッフェのデザートとして提供したりするなど、フードロス削減の取組に力を入れている。

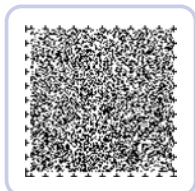
また、ごみとして出た伊勢海老の殻をコンポスト（堆肥）化し、伊勢市内のワイナリーでその堆肥を使ってブドウを育ててワインを製造する、循環型の伊勢志摩産ワインを製造する取組なども行っている。

### 地域と一体となったSDGsイベント

NEMU RESORTでは、地域と一体となったSDGsイベントを定期的に行う。自治体や地元企業・団体等と協力しながら、地域の方が海洋プラスチックを使ったキーホルダー作り体験やビーチクリーン活動に参加したり、気軽に健康増進に取り組めるイベントを企画し、500名近くが参加することもある人気イベントとなっている。



SDGsイベントの様子



# 株式会社久志本組 (四日市市)

## 地域に頼られる存在であり続ける企業をめざして

120年を超える歴史と経験で培ってきた技術を活かし、地元三重北勢地域を中心に、新築工事だけでなく、改修・改築、メンテナンス等多様な工事についても設計・計画から対応。安心・安全・快適性を求めた工事の施工に努める。

- 創業 1902年
- 従業員数 63人
- 資本金 6000万円



代表取締役社長 清水 良保



2023年建設の新社屋

## Nearly ZEBを達成した本社社屋

年間の一次エネルギー消費量の収支をゼロにする建物「ZEB (ゼロ・エネルギー・ビル)」をめざし、環境に配慮した新社屋を2023年に建設。本社屋上に太陽光パネルを設置したことによる創エネや、高性能な断熱材や空調設備等の活用による省エネによって消費エネルギーを大幅に削減し、設計一次エネルギー消費量の削減率は90%となったことで、「ZEB」に非常に近い「Nearly ZEB」を達成している。

## 従業員同士の交流を促進

従業員が働きやすい職場を作るためには、従業員のコミュニティを作ることが最も大切だという社長の考えから、従業員同士の交流を積極的に推進する取組を行っている。若手・ミドルそれぞれの世代で会議や研修を行っているほか、若手従業員のクラブ活動も推進。また、社員旅行や交流会は社長自らが手配しており、従業員が参加したいと思えるようなイベントを企画している。

このような取組を通じて、従業員が話をしやすい環境を作り、長く働ける職場づくりに努めている。



クラブ活動の様子

## 地元に根差した地域貢献活動

地元のスポーツチームへの協賛や、地域の清掃活動の実施、災害救援型自動販売機の設置など、地域社会への貢献のために様々な取組を実践している。



地域の清掃活動の様子

また、地域の子どもたちの育成にも積極的に取り組んでおり、子ども食堂への協賛や、地元の小学生から高校生を対象にした学校への出前授業、現場見学会などを行っている。

こうした活動を通じて、地域から頼られる企業として成長を続けることをめざしている。





# 光精工株式会社 (桑名市)

## 「日本で一番人が育つ企業」をめざした人財育成

創業の地である桑名で77年間、ものづくりに取り組み続けている企業。国内主要乗用車全メーカーに部品が搭載されており、車両に欠かせない重要部品を高品質で製造する。他業態への展開も試み、航空機部品など新製品の製造にも力を入れ始めている。

- 創業 1947年
- 従業員数 500人
- 資本金 8100万円



代表取締役社長 西村 昌能

## 学び合う「人財育成」で従業員の意欲も向上

同社では社内の教育・研修体制の強化に力を入れており、今後の事業環境の変化にも臨機応変に対応できる「人財」の育成をめざしている。特に、社内研修制度を充実させており、これらの研修の講師を従業員が務めることで、コーチング力の向上にもつなげている。

また、若手従業員と社長の座談会を開催し、その模様の動画を社内に展開。学び合う環境を整備し、従業員の意欲を引き出す取組を行っている。



従業員が講師を務める社内研修



自社開発したスマートメーター

## 自社開発機器を利用したCO2削減

電力の消費量を見える化できるスマートメーターを自社で開発。社内のエネルギー使用量を詳細に計測し、どの部門やプロセスでどれだけのエネルギーが使用されているかを把握できる仕組みを構築している。これにより、エネルギーの無駄な使用や高消費量の箇所を特定し、効率的なエネルギーの使用に向けた対策を立てることを可能にした。こうした取組を通じて、CO2排出量の削減につなげ、環境に配慮した経営を行っている。

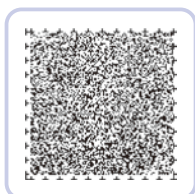
## 地域の子どもたちの育ちを支援

次世代を担う地域の子どもたちの育成に注力し、様々な取組を行っている。地元の学童保育に通う小学生を招いた工作体験教室や、外国人留学生向けの工場見学などを実施。また、地域のコミュニティプラザのネーミングライツを取得し、そこでパソコン講座やダンス発表会なども開催している。

このような地域に根差した活動を積極的に行うことで、地元出身の従業員の確保にもつなげている。



ダンス発表会の様子



# 株式会社山下組 (志摩市)

## 安心して働ける職場を実現し社会に貢献する

創業から100年以上、志摩の地で建設業を営み、新築・リフォーム、公共事業工事を手掛ける企業。豊富な経験と技術力、地元に着した安心のアフターフォローで、お客様満足を目指す。近年は不動産業、油類販売業、コインランドリー業にも進出している。

- 創業 1916年
- 従業員数 55人
- 資本金 2000万円



代表取締役 山下 信康



事務所内観

### 誰もが安心して働ける職場

完全週休二日制の導入や、全従業員の月給化など、建設業では珍しい勤務形態をいち早く実現。コンプライアンスの順守には特に注力しており、誰もが安心して働ける職場を実現している。

また、従業員によるお茶出しをなくすためのドリンクサーバーの設置や、ロボット掃除機の導入、独自制度である子育て有休の付与など、女性や子育て世代の従業員の働きやすさの向上にも力を入れており、現場では女性の監督や作業員も活躍している。

### 防災での地域貢献

同社の所在地は、地震が起こった際に大きな津波が予想されており、また地域の避難場所も遠いことから、社屋を災害時の避難場所として地域に開放する取組を行っている。

事務所3階部分を災害時避難施設として使用できるよう改修し、20人が3日間快適に過ごせる備蓄品を常備。また、屋上は津波避難施設になるよう外部階段を改修し、地域住民がすぐに避難できるようにした。

このような防災での取組を通じて、地域貢献を行っている。



事務所3階の災害時避難施設



自社サーバー

### 自社サーバーの設置によるDX化

社内のDX化を進めており、自社のシステムに合わせた自社サーバーを設置。現場の職長にはタブレットを配布し、社外にいても社内のサーバーにアクセスできる環境を構築した。書類はデジタル化し、電子契約システムも導入したことで、ペーパーレス化による環境負荷低減と、業務効率向上につなげている。





# 和光紙器株式会社 (鈴鹿市)

## 持続可能なサーキュラーエコノミーへの挑戦

段ボール箱から輸送トレーまで幅広く包装資材を扱う企業で、環境を考えた商品開発に注力。「ものづくりで進化させ続ける」をスローガンに、包装資材のプロ集団として培った営業力・対応力に、進化し続ける人材力・製造力・開発力で「社会に必要とされる」企業をめざす。

- 創業 1949年
- 従業員数 80人
- 資本金 3000万円



代表取締役 本橋 志郎

## 廃棄物を生まないサーキュラーエコノミー

循環資源を活用するサーキュラーエコノミーに取り組み、製造工程で出る端材等を再利用して廃棄物を生まない仕組みを構築。今地球上に存在する資源を有効活用し、環境に配慮したものづくりに取り組んでいる。

一貫製造システムを導入したことで、無駄なく廃棄物を活用でき、コストも低減。環境配慮型商品でも、一般商品と変わらないコストでの提供を可能にしている。



廃棄物を活用して作られる製品



海岸清掃活動の様子

## 従業員一人一人が考えるSDGs

同社ではSDGs勉強会を実施しており、年初めに従業員一人一人が取り組むSDGs活動内容を発表、年末に活動の結果を発表する。従業員が発案したSDGs活動は、着なくなった制服を必要な人につなぐ「制服リユースBOX」の作成、ウミガメを守る海岸清掃活動、端材をおもちゃヘリサイクルし保育園に寄贈…など多岐にわたる。このような地域に根差した活動を通して、従業員がやりたいことを実現でき、いきいきと働ける職場づくりにもつながっている。

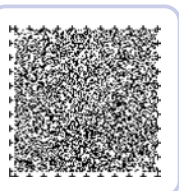
## 従業員の成長を導く取組

同社では「WAKOHノート」を全従業員に配布。従業員が共通認識を持って働くための教科書として常に経営理念を確認できるようにし、目標に向かって計画を立てられるページも設け、従業員の成長を導くツールとなっている。

また、全従業員を対象に社長賞やSDGs活動賞などを表彰したり、年に1回社長との1on1ミーティングを実施することで、誰もが平等に評価され、安心して働ける環境を作っている。



表彰を受けた従業員





令和5年度受賞企業

◆ 伊勢志摩リゾートマネジメント株式会社

志摩市浜島町迫子 2692-3

TEL 0599-25-3121

FAX 0599-21-0054

HP <https://www.nemuresort.com/company/>



◆ 株式会社久志本組

四日市市大字羽津乙 935-5

TEL 059-331-6101

FAX 059-331-5308

HP <https://www.kusimoto.co.jp/>



◆ 光精工株式会社

桑名市蛸塚新田 806

TEL 0594-22-3155

FAX 0594-22-3170

HP <https://www.hikariseiko.com>



◆ 株式会社山下組

志摩市志摩町和具 799-2

TEL 0599-85-0431

FAX 0599-85-0375

HP <https://www.ymstg.co.jp/>



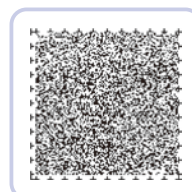
◆ 和光紙器株式会社

(鈴鹿事業所) 鈴鹿市伊船町 1948-8

TEL 059-371-6255

FAX 059-371-3434

HP <https://www.wakosiki.co.jp>



# みえの魅力的な企業を学ぶフォーラム

～従業員・地域・社会が求める企業とは～

令和6年2月5日（月）、令和5年度「みえの働き方改革推進企業」知事表彰・「三重のサステナブル経営アワード」の受賞企業が登壇し、「みえの魅力的な企業を学ぶフォーラム～従業員・地域・社会が求める企業とは～」を開催しました。



## 出演企業

### 「みえの働き方改革推進企業」

令和5年度知事表彰 受賞企業

- 株式会社山下組
- 株式会社百五銀行
- 東海住電精密株式会社
- 中部電力パワーグリッド株式会社 三重支社

### 「三重のサステナブル経営アワード」

令和5年度 受賞企業

- 伊勢志摩リゾートマネジメント株式会社
- 株式会社久志本組
- 光精工株式会社
- 株式会社山下組
- 和光紙器株式会社

フォーラムではまず、両制度の受賞企業によるプレゼンテーションが行われ、今回の受賞につながった様々な取組を来場者に向けて説明していただきました。

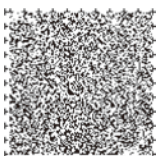
次に、「みえの働き方改革推進企業」知事表彰選考委員長と「三重のサステナブル経営アワード」審査委員長をコーディネーターに、県内在住・出身の大学生をパネリストに迎えて「若者が三重県で働きたくなる企業とは」をテーマにトークセッションを行いました。

企業のサステナブル経営や働き方改革の取組について学生から質問したり、企業の魅力を若者に伝えるための工夫などについての意見交換を行いました。

閉会後には、個別ブースで各企業と来場した学生や求職者の方々が直接交流を行いました。

## 「みえの働き方改革推進企業」とは

働き方を見直し、誰もが働きやすい職場環境づくりに取り組んでいる企業等を登録し、また、特に優れた取組を表彰することで、取組を県内に広めるとともに、地域社会全体での「ワーク・ライフ・バランス」、「働き方改革」の取組推進につなげることを目的とした制度です。詳しくはこちら→



## 「三重のサステナブル経営アワード」 シンボルマークについて

第1回「三重のサステナブル経営アワード」を開催した令和4年度に、三重県立飯野高等学校応用デザイン科、三重県立松阪工業高等学校繊維デザイン科の皆様にご協力いただき、アワードのシンボルマークを作成しました。

応募のあった49作品の中から、右のデザインをシンボルマークに採用することといたしました。

### ◆ シンボルマークのコンセプト

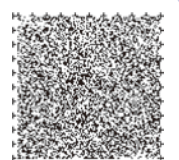
アワードの4つの要素（環境への配慮・脱炭素、次世代育成の推進、地域社会への貢献、従業員満足度の向上）をイメージした4つの山が組み合わさってひとつになる過程を、サステナブルの頭文字である「S」の形で表現しています。



三重のサステナブル  
経営アワード

## 令和4年度受賞企業

- ◆ エイベックス株式会社（桑名市）
- ◆ 株式会社オオコーチ（松阪市）
- ◆ 河村産業株式会社（四日市市）
- ◆ 株式会社北村組（松阪市）
- ◆ 株式会社フジ技研（いなべ市）
- ◆ 株式会社宝輪（鈴鹿市）
- ◆ 特定非営利活動法人三重県生涯スポーツ協会（津市）
- ◆ 三重執鬼株式会社（鈴鹿市）





# 「三重のサステナブル経営アワード」に 応募してみませんか？

- ▶ 県内に主たる事業所がある中小企業・小規模企業が対象です（NPO、各種団体等を含みます）。
- ▶ 業種は問いません。
- ▶ 3決算期以上事業が継続している必要があります。

## 審査・表彰企業決定までの流れ

### ◆ 一次審査（書面審査）

ご提出いただいた書類をもとに審査します。

### ◆ 二次審査（経営者プレゼンテーション）

取組等についてヒアリングを行います。

### ◆ 三次審査（現地訪問）

現地訪問し、現場の様子を拝見します。

### ◆ 選考会議、報道発表、表彰式

表彰企業を決定の後、ホームページ等で発表し、表彰式を行います。



多数のご応募をお待ちしています。

☆詳しくは、

三重のサステナブル経営アワード



で検索！

令和6年度の募集は、令和6年5月頃開始の予定です。

お問合せ先

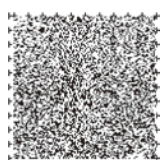
三重県雇用経済部中小企業・サービス産業振興課

〒514-8570 三重県津市広明町13

TEL 059-224-2393

FAX 059-224-2078

E-mail chusho@pref.mie.lg.jp



発行：三重県